

「大航海時代・宗教改革」

A.大航海時代

1492年 イタリア人の(1) がスペイン女王の支援を受けて西回りでインド到達を目指す。
→(2) を発見!? 「西インド諸島」・「インディアン」・「コロンビア」?

1498年 ポルトガル人の(3) がアフリカ大陸南端(4) を通って(5) 到達!

1522年 ポルトガル人の(6) 率いる艦隊が(7) 周達成!

《ヨーロッパ諸国のアジア進出》

ポルトガル: インドのゴア、中国(明)の(8) (※1999年まで支配)、ブラジルを植民地にする、
スペイン:

(9) 帝国(メキシコ)をコルテスが、(10) 帝国(ペルー)をピサロが滅ぼす。フィリピンも征服。

※ポルトガル・スペインの世界分割

1494年 トルデシャリス条約が結ばれ、大西洋を東西に分ける一本の線が引かれ、この線より東方で発見されるものはすべてポルトガルに、西方で発見されるものはスペインに属するとされた。16Cには東半球でも同様の分界線が引かれた。

オランダ: 1602年 (11) 設立(植民地を経営する組織)。

イギリス: 1600年 (11) 設立。

B.宗教改革

13C 十字軍遠征の失敗で権威が失墜。正ピエトロ寺院の改修費用を集めるため(12) を販売

1517年 ドイツの(13) が免罪符の販売に反対し「95か条の論題」を発表→宗教改革へ

ルターの考え:(14) だけが信仰の拠り所=免罪符はおろか教会や教皇の権威を否定

聖書(ラテン語)をドイツ語に訳し活版印刷術にし多くの人が読めるようにした。

→スイスの(15) も賛同

1534年 (16) 設立:ローマカトリック系のキリスト教徒も危機感を感じ改革に乗り出す。

イエズス会の方針:主に海外布教(大航海時代と密接に関係)

●クローズアップ「旧教と新教」

旧教:ローマ・カトリック(イエズス会はこっち)

新教:(17) (=「抗議する人」という意味。イギリスではピューリタンと呼ばれる)

・どちらも新約聖書・旧約聖書を聖書とする。※ユダヤ教は旧約聖書のみ。

C.日本への影響

1543年 鹿児島(18) に(19) 人が漂着し、(20) 伝来。

1549年 イエズス会の(21) が日本に来航して布教活動を行う。

1582年 天正遣欧使節団=九州の(22) 大名が少年使節をスペイン国王とローマ教皇のもとに派遣)

→1590年に帰国したが、その時には豊臣秀吉がキリスト教を禁止していたので活躍できず…。

●クローズアップ「南蛮貿易」

- ・南蛮人(ポルトガル人・スペイン人)との貿易。
- ・輸出品:銀、漆器など / 輸入品:生糸、火薬など
- ・カステラ、パン、タバコ、テンプラ、カルタなど

..... 解答

- (1)コロンブス (2)アメリカ大陸 (3)バスコ=ダ=ガマ (4)喜望峰 (5)インド (6)マゼラン (7)世界一周 (8)マカオ
(9)アステカ (10)インカ (11)東インド会社 (12)免罪符 (13)ルター (14)聖書 (15)カルバン (16)イエズス会
(17)プロテスタント (18)種子島 (19)ポルトガル人 (20)鉄砲 (21)フランシスコ=ザビエル (22)キリシタン